

令和2年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600058	事業の開始年月日	平成18年10月1日
		指定年月日	平成18年10月1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北Ⅰ		
所在地	(〒245-0018) 神奈川県横浜市泉区上飯田町3795-9		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和2年11月7日	評価結果 市町村受理日	令和3年10月27日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"><li>・月1回の行事の開催と作品制作や作品の掲示により、季節感を感じて頂いております。</li><li>・一言通信は各入居者様ごとに違うものを作成してご家族様へ送付する事で、一か月のご様子がより伝わるよう工夫しています。</li><li>・認知症の理解に努め、「尊厳」を重視した「その方らしい」「当たり前の生活」が送れるよう、支援計画の作成と実践に取り組んでいます。</li><li>・職員がやりがいを感じ、働きやすい職場環境作りに取り組んでいます。</li></ul>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	令和2年11月24日	評価機関 評価決定日	令和3年1月7日

※新型コロナウイルス感染予防の為、事業所訪問をせずにオンライン調査を行っております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<b>【事業所概要】</b> この事業所は相鉄いずみ野線いずみ野駅からバスで「中屋敷」バス停下車、徒歩5分程の住宅地にある。建物は木造2階建てで、前には小学校があり、子供たちの明るい声が聞こえている。隣には同一法人の「グループホームみんなの家横浜飯田北Ⅱ」があり、連携して避難訓練などを合同で実施している。訪問販売のパン屋（月1回）が回っており、利用者はパンを選び買い求めている。 <b>【事業所の理念】</b> 事業所独自の理念は『「おはよう」から「おやすみ」まで安心して過ごせるホーム「みんなの家」』である。職員は笑顔で利用者へ接し行事や歌、体操などレクリエーションを楽しんでもらい安心して過ごせるように取り組んでいる。 新型コロナ禍でも毎月楽しい行事を取り入れて利用者を楽しませたいという思いから食レクを実施し、ちらし寿司を提供した。 <b>【利用者の散歩など】</b> 利用者は天気の良い日は毎日のように散歩に出かけている。散歩は、前にある小学校周辺に行くことが多い。登下校の小学生と挨拶を交わしたり、小学生が利用者へ声を掛けてくれることもあり、交流を楽しみながら散歩をしている。歩行が困難な方は月に1～2回、車椅子で散歩をしている。散歩を好まない方には、無理強いしないで廊下での手引き歩行などをして身体機能の低下を予防している。
---

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	1U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員からアイデアを募り作った事業所理念を各ユニットの事務所に掲示しています。事業所理念を印刷したものを各職員に配布し、実践に繋げられるよう努めています。	事業所独自の理念は、『「おはよう」から「おやすみ」まで安心して過ごせるホーム「みんなの家」』である。全体会議で理念を話題にして確認している。職員は笑顔で利用者に接し、行事や歌、体操などレクリエーションを楽しんでもらい、安心して過ごせるように取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。本年度はコロナ禍のため地域行事の中止やホーム内行事の縮小があり、地域の方々と触れ合える機会が減ってはしまいましたが、日常の散歩中など近隣の方や前の小学校の小学生と挨拶を交わしたりしています。	中屋敷自治会に加入し、回覧板が回ってきている。新型コロナ禍で行事には参加できなかった。アンデス民謡(12月)、腹話術(2月)のボランティア来訪があり、楽しんだが、それ以降は受け入れを休止している。散歩時などには近隣の方と挨拶をしている。近くの小学校の生徒とは挨拶を交わしたり、利用者に声を掛けてくれることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ以前は近隣中学校の福祉体験学習の受け入れを行っていました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年度はコロナ禍で中止が続いています。概ね2か月に1回町内会長、地域ケアプラザ担当者、泉区高齢・障害支援課担当者に活動状況報告書を送付し、ご意見等を伺い、サービス向上に反映させています。	運営推進会議は2カ月毎に開催していたが、新型コロナ禍で3月から休止している。会議メンバーに「運営推進会議中止のお知らせ」、「事業所活動報告書」を送付し、意見や要望を聞いている。電話では内容が伝わらないことがあるという意見があり、FAXで連絡するようにした。会議休止中もメンバーだった前自治会長から「新年度から自治会長が交代した」など連絡を貰っている。	運営推進会議は、家族が意見や要望、苦情などを職員や外部者へ表せる機会でもありません。家族にも参加してもらえそうな工夫が期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方のオムツの給付の相談や通院交通費の相談をさせていただいています。	泉区高齢支援課・生活支援課担当職員と連絡を取っている。担当職員とオムツの給付などについて相談できる関係を築いている。運営推進会議の中止のお知らせ、活動報告を送付し、事業所の実情を伝えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	隔月で「身体拘束廃止委員会」を行い、束縛のないその方らしい生活支援について検討し、実践しています。	身体拘束廃止の研修を年2回実施して、全職員が内容を共有している。身体拘束廃止委員会を2カ月毎に開催して議事録を職員は確認している。玄関、ユニット入口は鍵を掛けている。利用者が外に出ていく気配を察知したら職員も一緒に出掛け	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	隔月で「虐待防止委員会」を行い、尊厳を重視した適切な認知症介護を理解し取り組むことで、拘束や虐待のない事業所作りに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内の研修を受講して学ぶ機会をいただき、そこで得た知識、情報については毎月の職員会議で共有を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約前の実態調査では、できるだけ時間をかけ、サービスについてのご説明を行うとともに、ご家族様の疑問やご要望についてお伺いし、信頼関係を築くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本年度はコロナ禍の為、家族会の開催が出来ていませんが、書面にてご意見、ご要望を聞く機会を設けております。また、ケアプラン作成の際もお電話等にてご希望を十分伺うよう努めています。	家族の意見は、訪問時や電話などで聞いている。新型コロナ禍で家族会が中止となり、家族に中止をお知らせし、書面で意見や要望について伺った。家族から「外に出る機会を増やして欲しい」という要望があった。職員が用事で出かけるときやゴミ捨て場まで一緒に行くなどして外に出る機会を増やすようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所の全体会議、各ユニットの職員会議で職員の意見や提案を聞く機会を作っています。また、定期的に面談を行い、職員の思いを引き出すよう努めています。	全体会議、ユニット会議、面談(年2回)の際などに職員の意見を聞き、反映させている。行事は行事担当の職員が企画し、そこから相談、話し合いをしている。コロナ禍でも毎月楽しい行事を取り入れて利用者を楽しませたいという思いから食レクを実施し、ちらし寿司を提供した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人で行っているGST(Good Service Thanks)カードの他、事業所内でホーム内表彰を行い、些細なことでも努力や尽力された職員の表彰を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修の他、近隣で開催される外部研修への参加で学んだことを事業所で伝達研修スキルアップに繋げています。事業所内で実技研修も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に加入し、情報の共有を図っています。また、地域にあるグループホームとの情報交換も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前の実態調査では、ご家族様だけでなく、ご本人のお話を傾聴することに重きをおいています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	実態調査、ご契約などの時間と機会を利用し、コミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「シニアセラピー」の利用等、ご提案させていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物や食器の後片付けなど、日常の家事手伝いをお願いすることで、共に生活する中での役割分担を図っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お送りしている「一言通信」で、利用者様の日常の様子を分かりやすくお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、施設内での面会停止中ですが、玄関のガラス越しにて面会して頂く等し関係が薄れないようにしております。定期的に訪れる訪問販売や訪問理美容の方とも馴染みの関係が築けている方もいます。	友人の訪問時は、お茶を出し居室で交流していたがコロナ禍で訪問を控えてもっている。最近は電話や手紙が届いている。家族と法事や通院後、馴染みの店に行っただ方がいる。電話の取次ぎをしたり、絵を描くことが趣味の方には継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が安心して穏やかに過ごせるよう、食席に配慮しています。1、2Fの合同レクリエーションやテラスを利用した外気浴で交流の機会を作っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居時にホームでのお写真等をお送りしています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入浴や散歩の時間を利用し、利用者様のお話を傾聴し、思いをくみ取るよう努めています。また、定期的なカンファレンスで職員の気づきを共有しています。	日常の関わりの中で意向を把握している。把握が難しい方は、職員が対応した際、嬉しそうな様子などから対応に満足していると推測している。把握した情報は、申し送りファイルに記録して共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時に作成する「入居者情報」を元にその方の生活歴、志向を探り、介護サービス計画に反映しています。また、ご家族様から何うお話は貴重な情報となっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援に携わる職員の気づきを日々の申し送りで共有しております。また、医療連携看護師と常に利用者様の状態を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者だけでなく、介護職員、医療連携看護師、訪問診療医師、看護師と連携し、利用者様個々に適したサービスが提供できるよう介護計画を作成しています。	本人、家族、医師、看護師、職員の意見を反映した介護計画を作成している。短期は3ヶ月毎、長期は6ヶ月毎に計画を見直している。状態に変化があった場合はそのつど見直している。モニタリングは入居時は1ヶ月、それ以降は3ヶ月ごとに行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に実践のナンバリングをし、カンファレンスの中で必要なサービスを見極めるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出が困難な方も多いため、訪問販売の利用や訪問理美容の提供、専門医(皮膚科、泌尿器科)の往診を受けていただいています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ以前は地域ボランティアの受け入れや、地域作物の購入をしておりました。近隣商店への買い物などを実施し、地域の中での生活が構築できるよう努めています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご契約時に歯科の訪問診療の同意書を頂いています。協力医療機関とも後日契約を結んで頂いております。月2回の内科往診時は薬剤師も同行しております。	協力医が月2回（看護師、薬剤師が同行）、法人の訪問看護師が週1回、訪問歯科医が月2回の他、歯科衛生士が口腔ケアに来ている。入居前から、かかりつけの泌尿器科医師の往診を受けている方もいる。協力医以外は家族の対応であり、家族が同行した場合は受診内容を「通院報告書」に記録して共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	「訪問看護連絡帳」を利用し、介護職員と連携看護師の情報共有、ケアのアドバイス等が柔軟に行える関係を築いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療医であるやよい台内科・皮膚科と協力体制を築いています。また、他医療機関であっても電話にて状況をお伺いし面会可能な際はお見舞いへ伺い状況把握と早期退院に取り組んでいます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医であるやよい台内科・皮膚科、医療連携看護師と利用者様の終末についての判断と支援の方向性を共有し、ご家族様にご相談させていただいています。	入居時「重度化した場合の対応に係る指針」を家族に説明している。終末期に「終末期・看取り期に関する事前意志確認書」、「看取り介護および加算についての同意書」を受け取っている。利用者の重度化に伴い研修を実施して4月に1名を看取った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様急変時のフローや対応について掲示しております。体調不良時の対応については訪問診療医がファイルに纏めて下さった物を置いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の指導のもと緊急時避難訓練を実施しております。隣接するみんなの家・横浜飯田北Ⅱとの協力体制も築いております。	9月に、夜間想定避難訓練を消防署職員立ち合いの下、実施している。初期消火、消火器の使い方などの指導を受けた。次回は来年3月、昼間の火災避難訓練の予定である。水、食品類の災害備蓄品3日分3食をメニュー付きで備えている。その他カセットコンロ、ボンベなどを用意している。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「虐待防止委員会」を通して、適切な認知症介護について学びを深め、利用者様が安心して安楽に感じる言葉かけに取り組んでいます。	虐待防止の研修に参加し、その中で何事も一人で抱え込むことがないよう職員間のコミュニケーションが大切ということを確認した。利用者目線を合わせて話しかけている。フロアでの書類記録後の取り扱いについては第三者の目に触れないように事務所で書類を保管するようにした。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴や就寝介助、散歩など、利用者様と一対一になる時間を利用し、利用者本位の生活支援を探っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールを決めることなく、その日その日の利用者様の状態、お顔色を読み取る様努め、望まれる過ごし方が提供出来るよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は出来る限りご本人に選んでいただいています。散歩や外気浴の際は、帽子やスカーフなど小物にも気を配っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューを掲示し食前に読み上げを行っています。定期的にご希望を伺い食レクやメニュー変更も行っています。食欲のない方には無理強いせず「食事量」ではなく「美味しく」「楽しく」召し上がって頂くことを意識しています。	法人の管理栄養士が献立を作成している。食材の配送、調理は専門職員が行っている。利用者は食器洗いや食器ふきなどに参加している。月1回、利用者に希望を聞いて献立を変更している。テイクアウトのサンドウィッチ、ちらし寿し、夏祭りの蕎麦、誕生日のおやつケーキなどで食を楽しんでもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	給食部の管理栄養士が献立を作成しています。また、器や形状の工夫も行い、必要に応じて支援計画にも反映させています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者様に口腔ケアの仕上げ介助を行っています。口腔ケアを嫌う方には、受け入れやすい声掛けを支援計画に盛り込んでいます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレの声掛けや誘導を行っています。しかしながら立位をとることに大きく負担を感じている方には無理強いしない支援も行っています。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声掛けをしてトイレでの排泄を支援している。オムツ対応の方はベッド上での支援となっている。夜間は個別対応でパットの大きさを変えたり、眠りが深い方は睡眠を優先してオムツを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬に頼るだけでなく、十分な水分補給と適度な運動の提供に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は固定していません。無理強いはいませんが、定期的な入浴が提供できるようチェック表を作成しています。また、2Fの利用者様も可能な範囲で1Fのリフト浴をご利用いただいております。	入浴は週2回以上を原則にし、午前中に入っている。利用者の希望に合わせて回数や時間などは柔軟に対応している。現在は強く入浴を拒まれる方はいない。1階にはリフト浴があり、必要な方(9名)は利用して入浴を楽しんでいる。暖房設備でヒートショック対策をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	「活動」だけでなく、「休息」も必要な支援と捉えています。就寝時はパジャマ更衣をして頂いたり、必要に応じて清拭、陰洗を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療連携看護師、連携薬局の薬剤師と連携し、服薬支援を行っています。服薬は確実に安全であるようその方に応じて工夫しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月3回の訪問販売(ヤクルト、パン)は皆様大変楽しみにされています。ベランダやテラスでの外気浴は日課になっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為地域行事や外食レクは中止となってしまいましたが、日々の散歩や外気浴で外気に触れる機会を作っております。近くの自動販売機までジュースを買いに出かけることもあります。	天気の良い日は毎日のように散歩に行っている。歩行が困難な方は車椅子で月に1~2回行っている。散歩を好まない方は無理強いしないで立ち上がりや、手引き歩行で体を動かして身体機能の低下を予防している。テラスやベランダで外気浴をしている。近所の量販店に職員と散歩がてら出かける方もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所、ご家族様で行っていますが、欲しい物が購入できるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ禍で面会が出来ない為、電話でご家族様とコミュニケーションを取られる機会が増えています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの作品を制作していただき、共有スペースに飾らせていただいています。またTVがつけっぱなしにならないよう、状況に応じて馴染み深い音楽のCDやDVDを流したりしています。	吹き抜けの玄関に皆で飾り付けをした季節のクリスマスツリーが飾ってある。リビングは窓が大きく明るい。朝夕に換気を行い温度管理をしている。レクリエーションで季節に合わせて作った貼り絵などを壁に飾っている。テレビ、ソファがあり、音楽が好きな方が多いためCDなどで音楽を流し寛げるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダやテラスは利用者様同士の社交場になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお仏壇をお持ちになる方もいらっしゃいます。また行事の際に差し上げた表彰状などを飾り、楽しかった思いを心にとどめていただけるよう努めています。	居室入り口には表札がある。空調設備、照明、カーテン、ベッド、整理ダンス、チェスト、洗面台の配置がある。利用者は仏壇、テレビ、小さなイス、写真、ぬいぐるみ、自身の書いた絵などを思い思いに持ち込み、その人らしい部屋にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	導線上に障害物がないよう気を配り、利用者様が安全に異動できるよう努めています。後ろから名を呼ぶのではなく、歩かれている方に寄り添う支援に努めています。		

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員からアイデアを募り作った事業所理念を各ユニットの事務所に掲示しています。事業所理念を印刷したものを各職員に配布し、実践に繋がられるよう努めています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しています。本年度はコロナ禍のため地域行事の中止やホーム内行事の縮小があり、地域の方々と触れ合える機会が減ってはしまいましたが、日常の散歩中など近隣の方や前の小学校の小学生と挨拶を交わしたりしています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ以前は近隣中学校の福祉体験学習の受け入れを行っていました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	本年度はコロナ禍で中止が続いています。概ね2か月に1回町内会長、地域ケアプラザ担当者、泉区高齢・障害支援課担当者に活動状況報告書を送付し、ご意見等を伺い、サービス向上に反映させています。		



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	生活保護の方のオムツの給付の相談や通院交通費の相談をさせていただいています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	隔月で「身体拘束廃止委員会」を行い、束縛のないその方らしい生活支援について検討し、実践しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	隔月で「虐待防止委員会」を行い、尊厳を重視した適切な認知症介護を理解し取り組むことで、拘束や虐待のない事業所作りに努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内の研修を受講して学ぶ機会をいただき、そこで得た知識、情報については毎月の職員会議で共有を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご契約前の実態調査では、できるだけ時間をかけ、サービスについてのご説明を行うとともに、ご家族様の疑問やご要望についてお伺いし、信頼関係を築くよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本年度はコロナ禍の為、家族会の開催が出来ていませんが、書面にてご意見、ご要望を聞く機会を設けております。また、ケアプラン作成の際もお電話等にてご希望を十分伺うよう努めています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月事業所の全体会議、各ユニットの職員会議で職員の意見や提案を聞く機会を作っています。また、定期的に面談を行い、職員の思いを引き出すよう努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人で行っているGST(Good Service Thanks)カードの他、事業所内でホーム内表彰を行い、些細なことでも努力や尽力された職員の表彰を行っています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修の他、近隣で開催される外部研修への参加で学んだことを事業所で伝達研修しスキルアップに繋げています。事業所内で実技研修も行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市グループホーム連絡会に加入し、情報の共有を図っています。また、地域にあるグループホームとの情報交換も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居前の実態調査では、ご家族様だけでなく、ご本人のお話を傾聴することに重きをおいています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	実態調査、ご契約などの時間と機会を利用し、コミュニケーションを図り、信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	「シニアセラピー」の利用等、ご提案させていただいています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	洗濯物や食器の後片付けなど、日常の家事手伝いをお願いすることで、共に生活する中での役割分担を図っています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お送りしている「一言通信」で、利用者様の日常の様子を分かりやすくお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、施設内での面会停止中ですが、玄関のガラス越しにて面会して頂く等し関係が薄れないようにしております。定期的に訪れる訪問販売や訪問理美容の方とも馴染みの関係が築けている方もいます。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が安心して穏やかに過ごせるよう、食席に配慮しています。1、2Fの合同レクリエーションやテラスを利用した外気浴で交流の機会を作っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退居時にホームでのお写真等をお送りしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入浴や散歩の時間を利用し、利用者様のお話を傾聴し、思いをくみ取るよう努めています。また、定期的なカンファレンスで職員の気づきを共有しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居時に作成する「入居者情報」を元にその方の生活歴、志向を探り、介護サービス計画に反映しています。また、ご家族様から何うお話は貴重な情報となっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	支援に携わる職員の気づきを日々の申し送りで共有しております。また、医療連携看護師と常に利用者様の状態を共有しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者だけでなく、介護職員、医療連携看護師、訪問診療医師、看護師と連携し、利用者様個々に適したサービスが提供できるよう介護計画を作成しています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に実践のナンバリングをし、カンファレンスの中で必要なサービスを見極めるよう努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出が困難な方も多いため、訪問販売の利用や訪問理美容の提供、専門医(皮膚科、泌尿器科)の往診を受けていただいています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ以前は地域ボランティアの受け入れや、地域作物の購入をしておりました。近隣商店への買い物などを実施し、地域の中での生活が構築できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご契約時に歯科の訪問診療の同意書を頂いています。協力医療機関とも後日契約を結んで頂いております。月2回の内科往診時は薬剤師も同行しております。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	「訪問看護連絡帳」を利用し、介護職員と連携看護師の情報共有、ケアのアドバイス等が柔軟に行える関係を築いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問診療医であるやよい台内科・皮フ科と協力体制を築いています。また、他医療機関であっても電話にて状況をお伺いし面会可能な際はお見舞いへ伺い状況把握と早期退院に取り組んでいます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医であるやよい台内科・皮フ科、医療連携看護師と利用者様の終末についての判断と支援の方向性を共有し、ご家族様にご相談させていただいています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者様急変時のフローや対応について掲示しております。体調不良時の対応については訪問診療医がファイルに纏めて下さった物を置いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署の指導のもと緊急時避難訓練を実施しております。隣接するみんなの家・横浜飯田北Ⅱとの協力体制も築いております。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	「虐待防止委員会」を通して、適切な認知症介護について学びを深め、利用者様が安心して安楽に感じる言葉かけに取り組んでいます。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入浴や就寝介助、散歩など、利用者様と一対一になる時間を利用し、利用者本位の生活支援を探っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールを決めることなく、その日その日の利用者様の状態、お顔色を読み取る様努め、望まれる過ごし方が提供出来るよう努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は出来る限りご本人に選んでいただいています。散歩や外気浴の際は、帽子やスカーフなど小物にも気を配っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事メニューを掲示し食前に読み上げを行っています。定期的にご希望を伺い食レクやメニュー変更も行っています。食欲のない方には無理強いせず「食事量」ではなく「美味しく」「楽しく」召し上がって頂くことを意識しています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	給食部の管理栄養士が献立を作成しています。また、器や形状の工夫も行い、必要に応じて支援計画にも反映させています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全利用者様に口腔ケアの仕上げ介助を行っています。口腔ケアを嫌う方には、受け入れやすい声掛けを支援計画に盛り込んでいます。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレの声掛けや誘導を行っています。しかしながら立位をとることに大きく負担を感じている方には無理強いしない支援も行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	服薬に頼るだけでなく、十分な水分補給と適度な運動の提供に努めています。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は固定していません。無理強いはしませんが、定期的な入浴が提供できるようチェック表を作成しています。また、2Fの利用者様も可能な範囲で1Fのリフト浴をご利用いただいております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	「活動」だけでなく、「休息」も必要な支援と捉えています。就寝時はパジャマ更衣をして頂いたり、必要に応じて清拭、陰洗を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療連携看護師、連携薬局の薬剤師と連携し、服薬支援を行っています。服薬は確実に安全であるようその方に応じて工夫しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月3回の訪問販売(ヤクルト、パン)は皆様大変楽しみにされています。ベランダやテラスでの外気浴は日課になっています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の為地域行事や外食レクは中止となってしまいましたが、日々の散歩や外気浴で外気に触れる機会を作っております。近くの自動販売機までジュースを買いに出かけることもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は事業所、ご家族様で行っていますが、欲しい物が購入できるよう支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	コロナ禍で面会が出来ない為、電話でご家族様とコミュニケーションを取られる機会が増えています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとの作品を制作していただき、共有スペースに飾らせていただいています。またTVがつけっぱなしにならないよう、状況に応じて馴染み深い音楽のCDやDVDを流したりしています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダやテラスは利用者様同士の社交場になっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具やお仏壇をお持ちになる方もいらっしゃいます。また行事の際に差し上げた表彰状などを飾り、楽しかった思いを心にとどめていただけるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	導線上に障害物がないよう気を配り、利用者様が安全に異動できるよう努めています。後ろから名を呼ぶのではなく、歩かれている方に寄り添う支援に努めています。		

# 目標達成計画

事業所名 GHみんなの家横浜飯田北1

作成日 令和3年1月30日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は、家族が意見や要望、苦情などを表せる場であるが、コロナの影響により発言する場が少なくなっている。また、入居者様の様子がわからず不安になっている可能性がある。	ご家族が意見や、要望、苦情を言えることが出来るようにする。入居者の状況を分かっていたいただき安心して頂けるようにする。	電話で入居者様の体調変化などは随時報告する。ブログやホーム通信で入居者様の日々の様子を確認して頂く。ご家族の心配事は、電話、メールの利用をお勧めし、気軽に発信して頂けるように努める	1年
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。